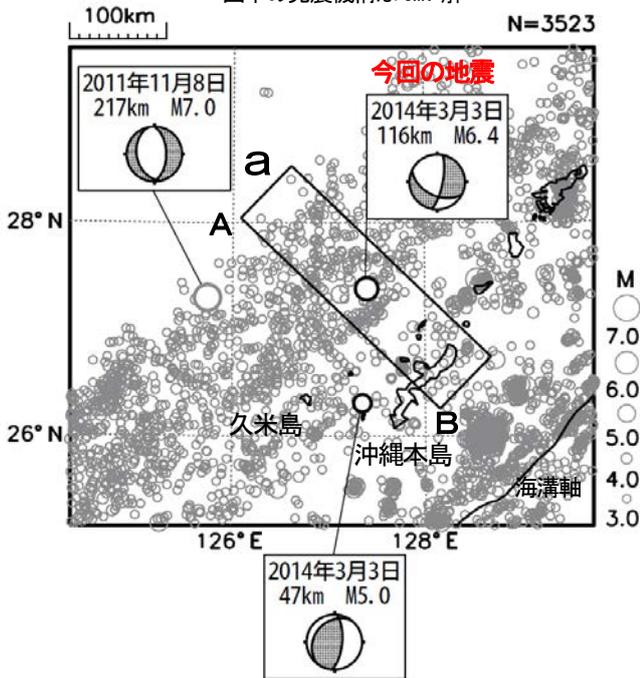
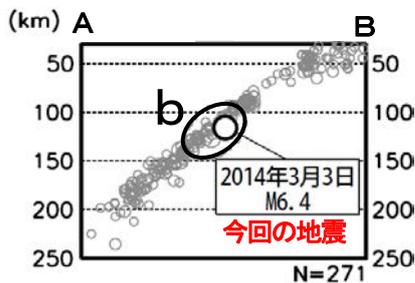


3月3日 沖縄本島北西沖の地震

震央分布図 (2000年7月1日~2014年3月3日、
深さ 30km~250km、 $M \geq 3.0$)
2014年3月3日の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



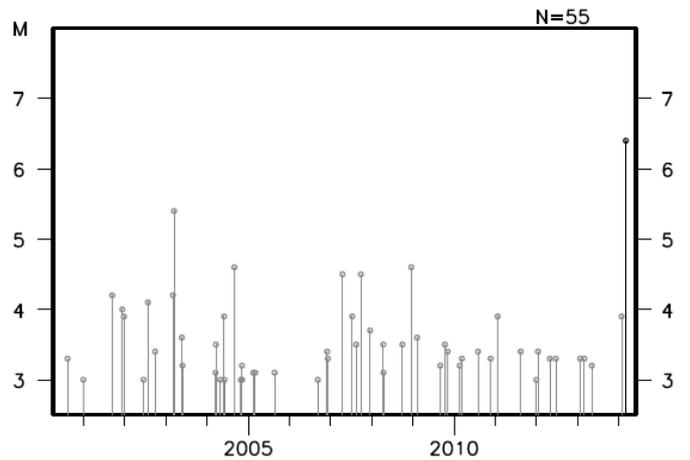
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



2014年3月3日05時11分に沖縄本島北西沖 (那覇の北北西約130km) の深さ116kmで $M 6.4$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) はフィリピン海プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

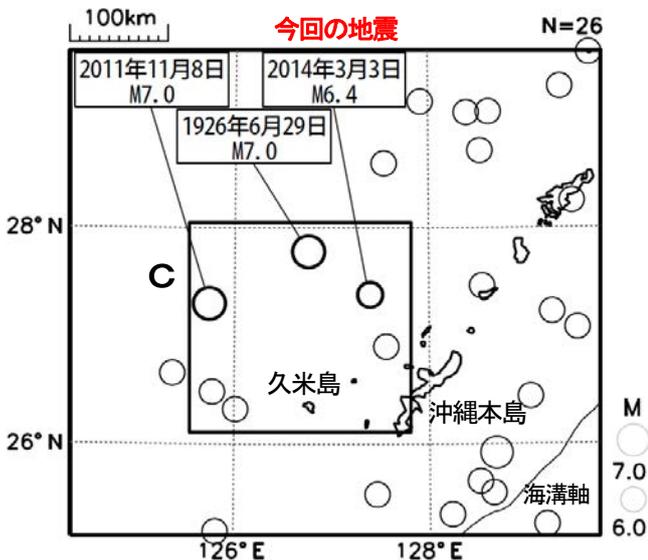
2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 4$ クラスの地震が時々発生しているが、 $M 6.0$ 以上の地震の発生は初めてである。

領域 b 内の M-T 図

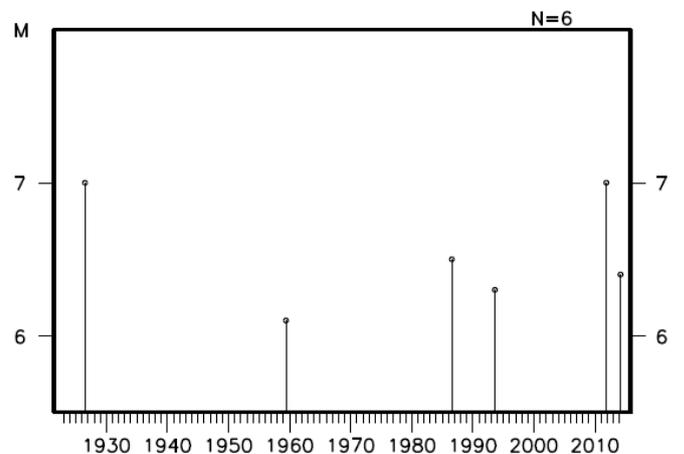


1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1926年6月29日に $M 7.0$ の地震 (最大震度4)、2011年11月8日に $M 7.0$ の地震 (最大震度4) が発生している。

震央分布図 (1923年1月1日~2014年3月3日、
深さ 30km~250km、 $M \geq 6.0$)



領域 c 内の M-T 図

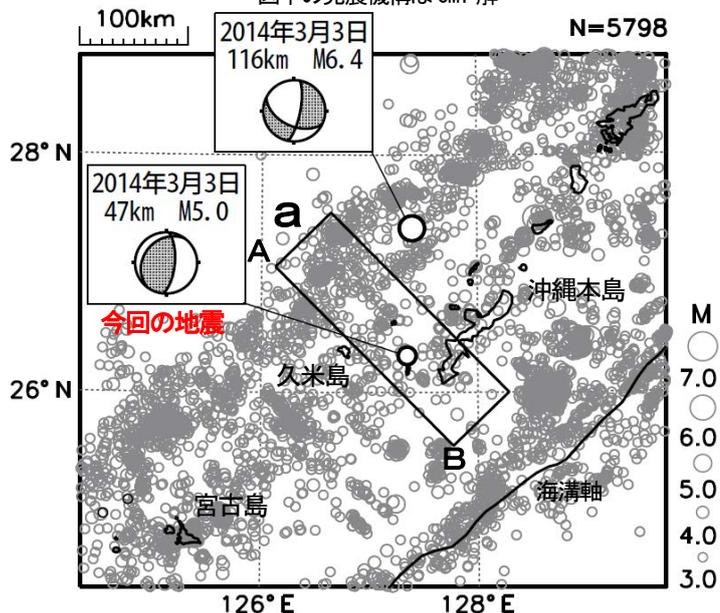


(この期間は検知能力が低い)

3月3日 沖縄本島近海の地震

震央分布図 (2000年7月1日~2014年3月3日、
深さ0km~150km、 $M \geq 3.0$)

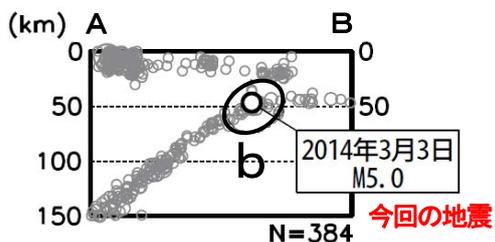
2014年3月3日の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



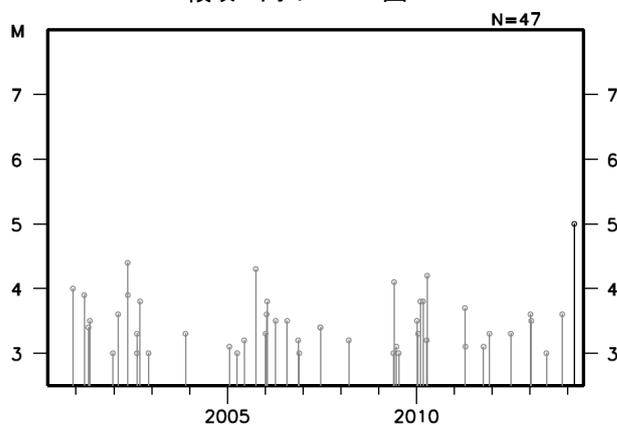
2014年3月3日11時27分に沖縄本島近海の深さ47kmで $M 5.0$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 4$ クラスの地震が時々発生している。

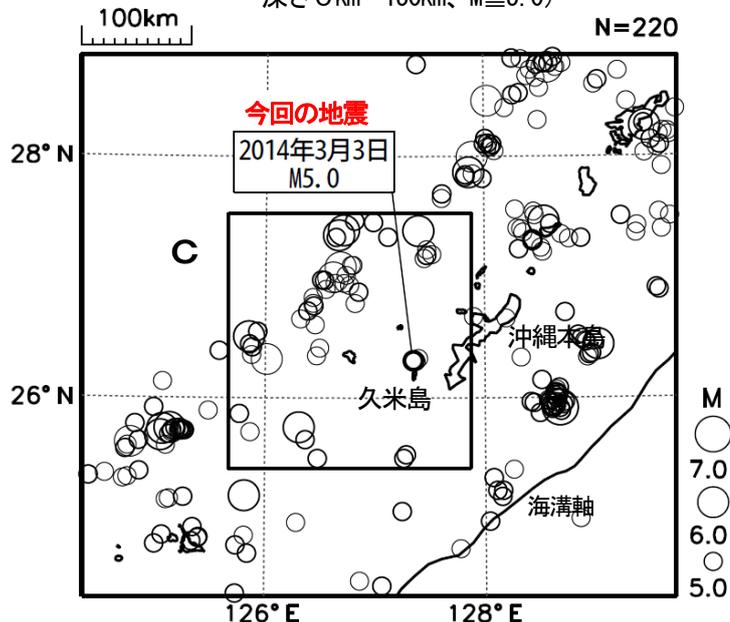
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



震央分布図 (1980年1月1日~2014年3月3日、
深さ0km~150km、 $M \geq 5.0$)



1980年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図

